

損益計算書

(単位:百万円)

科目	17年度 (H17.4-H18.3)	18年度 (H18.4-H19.3)	19年度 (H19.4-H20.3)	増△減(前年比較)
経常費用				
業務費	110,598	114,299	117,316	3,017
教育経費 ^{*1}	4,507	5,307	5,778	471
研究経費 ^{*1}	13,153	14,883	17,111	2,228
診療経費 ^{*2}	18,794	16,811	15,970	△841
教育研究支援経費	2,642	2,615	2,825	210
受託研究費等	11,683	14,987	14,520	△467
人件費 ^{*3}	59,817	59,694	61,110	1,416
一般管理費	5,079	4,012	4,049	37
財務費用	1,449	1,596	1,526	△70
雑損	5	2	9	7
経常費用合計	117,132	119,910	122,901	2,991
経常収益				
運営費交付金収益	58,836	57,903	58,074	171
学生納付金収益	13,711	13,697	13,719	22
附属病院収益	24,090	24,576	24,712	136
受託研究等収益等	12,048	15,177	15,125	△52
寄附金収益	3,757	3,600	4,168	568
研究関連収入 ^{*4}	1,681	2,099	2,558	459
資産見返負債戻入 ^{*5}	5,957	5,795	5,847	52
その他	1,444	2,235	4,654	2,419
経常収益合計	121,527	125,085	128,861	3,776
経常利益	4,394	5,175	5,959	784
臨時損失^{*6}	75	173	114	△59
臨時利益^{*7}	3	92	10	△82
目的積立金取崩額^{*8}	—	—	397	397
当期総利益	4,322	5,094	6,252	1,158

注)百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

(※1) グローバルCOEプログラムや、世界トップレベル拠点等の補助金の受入などにより増加しています。

(※2) 医薬品・診療材料の価格交渉・後発薬品への切り替えなどにより減少しています。

(※3) 附属病院における7:1看護の導入による看護師増員などにより増加しています。

(※4) 科学研究費補助金等の間接経費によるものです。

(※5) 取得した固定資産(償却資産)を減価償却する際に、その減価償却分を資産見返負債から収益に振り替える会計処理のための勘定です。

(※6) 国から承継した債務である承継剰余金債務に係る費用及びその見返としての収益で、損害賠償金の支払額などです。

(※7) 承継剰余金債務を費用進行基準により収益化した費用相当額です。

(※8) 目的積立金取崩額のうちの費用計上額です。